

プロジェクト名：Template

活動報告書（7月～9月）

作成者：清水 悠翔

1. 当期目標

- ① イベント実施内容の詳細について内容を詰めていく
- ② イベント開催のための資金調達をする
- ③ 広報活動をし、イベント参加者を募る

2. 活動内容

- ① 内容を詰め、当日のタイムスケジュール、部屋割り、禁止事項等の条項をまとめた企画書を各所に提示し許諾を受けた
- ② 株式会社京信システムサービス様、麵笑万福（現：代打の神様）様に計6万円の協賛金をいただいた。また、チケット代にサポーターズチケットを設け1000円分を寄付してもらう形式をとった。
- ③ チラシの作成/配布、アカウントの運営を自主的に行い、とある大学生（同志社生向けメディア）、協賛企業の関係各所への広報の効果もあり、100名の集客を目標とする中で84名の集客に成功した。

総括

本イベントの目的は「大本山でイベントを成功させることによる、末寺への信頼獲得」であった。そのため、営利目的ではなく、また、持続的な活動のため赤字を避けることを最低限の目標としていたため、その目標が達成できたことは本イベントの成功といえる。しかし、広報の点ではアカウントの運用を早くに始めておくべきだったこと、そして初期の段階でSNSに頼った集客では成果が出づらいことを学んだ。運営の点でも、様々な来場方法に対応できるよう周辺地図を頭に入れておくこと等、まだまだ改善すべき余地はあったと感じる。この点はメンバーへ享有し、今後の活動に活かしていく。

3. 今後の目標

- ・イベント後アンケートの活用
- ・末寺向けの持続可能なシステムづくり
- ・メンバー増員による、総活動量の減少への対応
- ・各種責任範囲の明確化（役割分担）
- ・アカウントの継続的運営とフォロワー数の増加目標

